

初めての雪に感動！

大山町・嘉手納町人材育成交流事業

1月29日～2月1日までの3泊4日間、沖縄県嘉手納町から16名の児童が大山町に訪れました。

この事業は、昭和62年に国体のソフトボール会場となった嘉手納町が先進県視察で大山町を訪れたことをきっかけに始まりました。地域の将来を担う人材育成を目的として、毎年両町の児童が夏と冬に両町を訪れ、様々な体験活動を行っている相互交流事業です。

嘉手納町からの訪問が31回目となる今回も、町内5年生児童の家庭に宿泊。サポートファミリーとの交流を深めました。

滞在期間中は、大山町報国にある「ファーム山下」（※酪農教育ファーム認証牧場）での酪農体験や名和小



▲大山町児童がスキースキーのアドバイス



▲お別れ式「また会おうね！」

学校での児童交流など、大山町内外の施設を訪問して異なる文化を体験しました。

なかでも、雪遊びやスキー体験などは「生まれて初めて」体験する児童もあり、新鮮な経験となりました。

※酪農家等が、学校や教育現場などと連携しながら、牧場の資源を活用して教育活動を行う牧場のことです。

地域の方との交流を通して！

～老人クラブの皆さんとの活動～ 庄内保育所

庄内保育所では、年間を通して地域の方と交流をしています。

その中で老人クラブの皆さんとの交流では、春にはイチゴ摘みを、そして秋には一緒に芋ほりをした芋を使ってクッキングをしました。

クッキングでは、さつま汁を作り、一緒に試食をしながら楽しく会話がはずみました。最近では家族みんなで食事をする時間や、祖父母の方と一緒に食事をするのが少なくなっている子どもたちにとって、和やかな時間を過ごすことができました。

12月の餅つきでは、餅が出来上がる様子を見たり一緒に杵を使い、ついたりしました。子どもたちは興味津々で体験をしていました。昔ながらの行事も今ではなかなか体験できないので貴重な時間になりました。

地域の方や老人クラブの皆さんとの交流を通して、子どもたちは笑顔で温かい気持ちになり、思いやりの気持ちも育っていきます。これから地域に根ざした保育所として交流を続けていきたいと思っています。



▲一緒に餅つき



▲ふれあい遊び